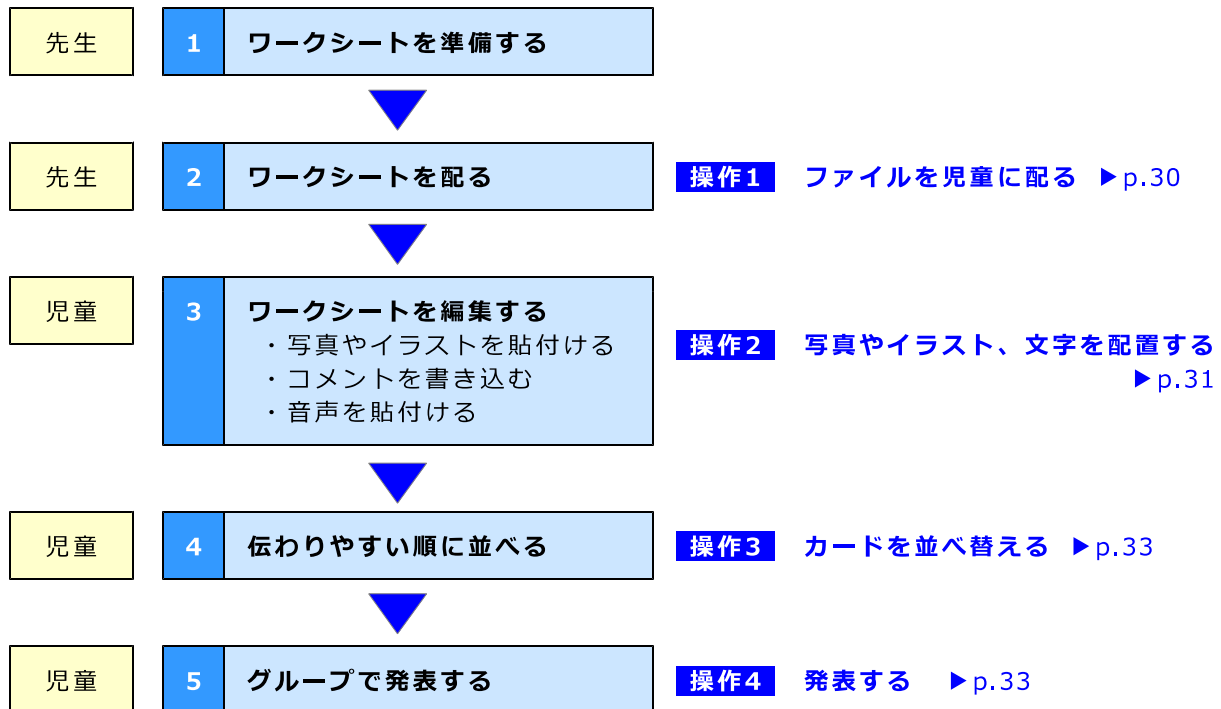


4-2.グループで発表資料をまとめる

伝えたい内容をカードにまとめ、相手に伝わる発表シナリオをみんなで考える授業を再現します。グループでカードの内容や組み立てを話し合う活動を通して、表現力やコミュニケーション力を培います。

■ 授業の流れ



● 子供たちが一から発表資料をつくる授業の流れ

「シナリオカード」は、低学年でも直感的に操作できるシンプルな画面構成です。

そのため、先生がワークシートを予め準備しておかず、子供たち自身がはじめから、

「取材」→「編集」→「発表」をするような授業にも活用することができます。



■ 操作手順

活用するアプリ：



マイフォルダ

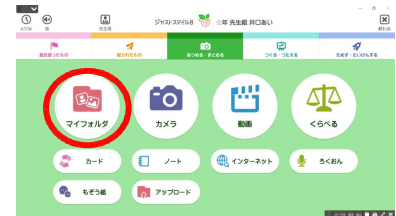


先生

操作1 ファイルを児童に配る

授業で使う資料や写真を配付したり、それを編集したファイルを回収したりする際には、「マイフォルダツール」を活用すると便利です。また、マイフォルダツールではこれまでに作成したファイルを一覧・管理できます。

マイフォルダツールは、ガイドメニューの【あつめる・まとめる】タブの【マイフォルダ】をタップして起動します。



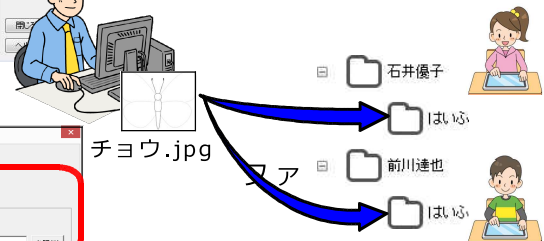
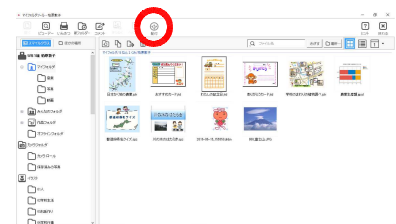
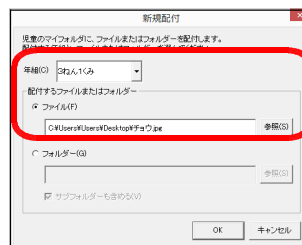
① ファイルの配付

先生は【配付】ボタンから指定した年組の児童全員のマイフォルダへ、ファイルやフォルダを一斉に配付や回収することができます。

配付・回収の画面で【新規配付】ボタンを押します。



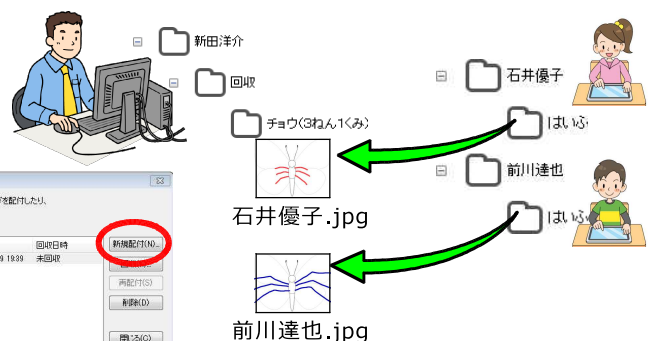
「年組」で配付する年組を選び、【参照】ボタンから、配付するファイルやフォルダを指定します。



② ファイルの回収

配付したファイルやフォルダを、先生のマイフォルダに回収します。

「配付した一覧」から回収したいファイルを選び【回収】ボタンを押します。



児童のマイフォルダ内のファイルは、削除することも、残しておくこともできます。回収後のファイル名は、自動的に児童の名前に変更されます。

活用するアプリ：



カード



児童

操作2 写真やイラスト、文字を配置する

相手に伝わりやすい発表資料をつくる際には、伝えたい内容を直感的に並び換えてたり編集したりできる「シナリオカード」が活用できます。

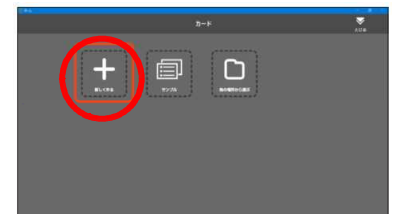
シナリオカードは、ガイドメニュー

【あつめる・まとめる】の【カード】をタップして起動します。



① 新しくカードを作る

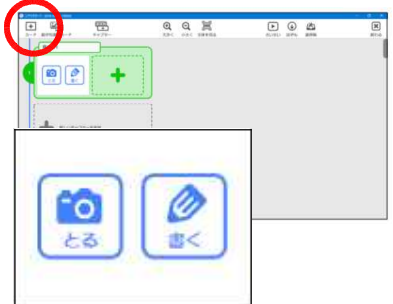
作り始めるときは【新しく作る】をタップします。



画面上部の【カード】ボタンをタップすると、新しいカードが追加されます。

【とる】ボタンをタップするとカメラ機能が起動して、撮影した写真や動画を、そのままカードにすることができます。

【書く】ボタンをタップすると編集画面が開いて、カードに文字やイラスト、写真などを配置して編集します。

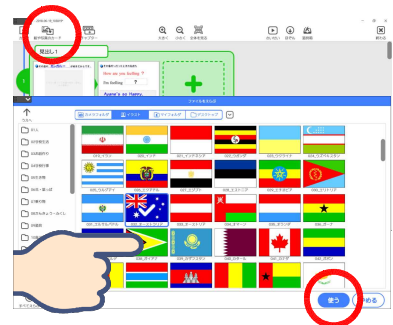


② 既存のイラストや写真をカードにする

【絵や写真のカード】ボタンから、イラストや取材で集めた写真などを使って簡単にカードを作成できます。

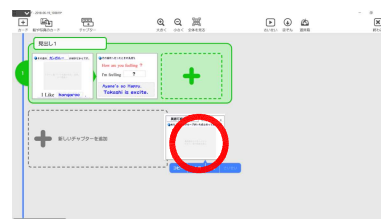
前時に取材した画像や動画、イラストなどを手早く発表資料の素材として使うことができます。

「ファイルを選ぶ画面」でカードにしたい絵や写真を選択してから、【使う】ボタンを押します。



③ カードに意見などを書き込む

作成したカードをタップをするとメニューが表示されて、メニュー内の「へん集」からカードの編集画面が開きます。



【ペン】ボタンで指やペンを使ってノートに直接書き込むことができます。

ペンの色や太さを好みによって選べます。

【文字】ボタンで文字枠をつくって文字を入力することができます。



④ 音声を貼付ける

音声を付けることで、説明資料のナレーションを付けたり、英語の単語や文章を正しく読み上げるリスニング教材を作成したりすることができます。

音声を貼付ける方法は3種類あります。

●入力文字の読み上げ音声（英語）を貼付ける

英単語だけでなく、自由に入力した英語の文章をネイティブに近い発音で読み上げます。

読み上げたい内容の英文を文字枠に入力した後、【よみあげ】ボタンをタップします。英語読み上げ音声のボタンが貼付けられます。



●音声ファイルを貼付ける

スマイルでは、身近なものや人の行動・状態など日々の生活に関連した英単語のほか、チャンツ等の音声素材が多数種収録されています。

また、音声素材に限らず事前に録音した音声ファイルも扱えます。

コマンドバーの【はる】をタップしてメニューが表示されたら【音声】をタップします。

使いたい音声ファイルを選んで【使う】をタップします。

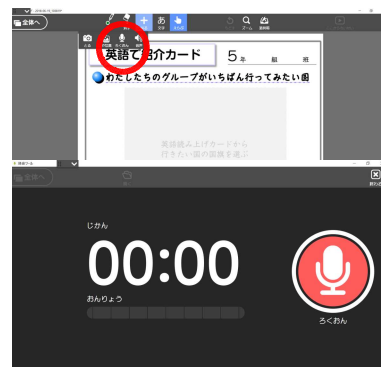


●その場で録音した音声を貼付ける

その場で思いついたことなどを手早く録音して発表資料に組み込むことができます。

コマンドバーの【はる】をタップしてメニューが表示されたら【録音】をタップします。

らくおんツールが起動し録音ができます。





児童

操作3 カードを並べ替える

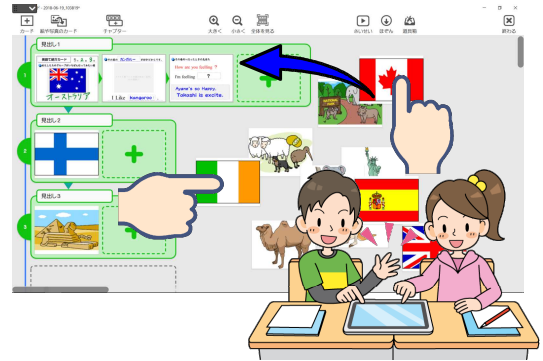
① カードを移動する

カードがそろったら、緑色のチャプターの中にドラッグ&ドロップして発表の順序を考えます。

② チャプターで章立てを整理する

発表する内容をチャプターでグループ分けして整理できます。

左端の番号部分をつかんでチャプターの順序を入れ替えることもできます。



マルチタッチに対応

ひとつの画面をみんなで同時に触りながら並べ替える事ができます。

みんなで話し合いながら、わかりやすいシナリオ展開を組み立てましょう。



児童

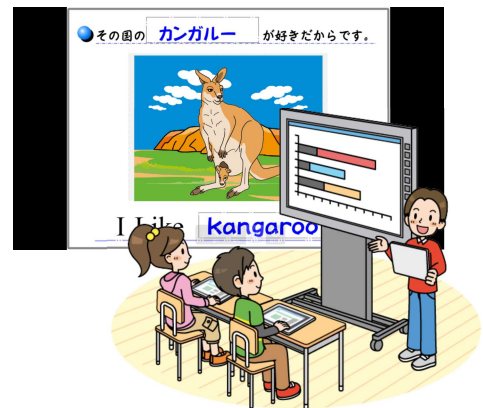
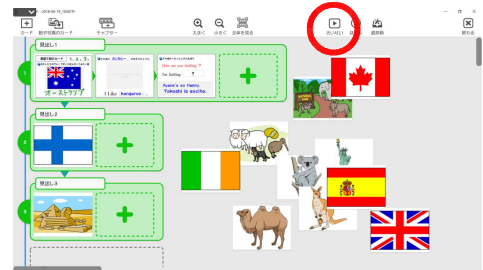
操作4 発表する

① 資料をはじめから再生する

【さいせい】 ボタンをタップすると、チャプターの中に入っているカードが全画面で表示されます。

画面をタップして次のページに切り替えることが可能なので、姿勢や視線をキープしたまま発表ができます。

画面下のスライドコントローラーを使って発表も可能です。





● One Point ● 英語音声読み上げカードの一括作成

簡単操作で外国語活動の教材として英語音声読み上げフラッシュカードを作る事ができます。体験的に「聞くこと」「話すこと」を通して、音声や表現に慣れ親しむ活動に最適です。

①【工具箱】の中の【英語カード】を選択する。

②イラストにひも付いた単語（音声）を選ぶ。

（数や色・形、自然や天気、料理、一日の行動など、外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験する為に必要な表現が700種類収録されています。）

③英文を作る。

単語だけでなく、(I like ○○○. など) 英文を組み合わせることで外国語の音声やリズム、言い回しなどに慣れ親しむ事ができます。（そのまま単語だけでもOK）

④カードの見せ方を選んで完成。

（カードは、後から編集もできます。）

